

事務連絡  
令和3年12月20日

都道府県下水道担当課長 殿  
政令指定都市下水道担当部長 殿  
（上記、各地方整備局等経由）  
市町村下水道担当部長・課長 殿  
（上記、各都道府県経由）  
日本下水道事業団事業課長 殿  
都市再生機構下水道担当課長 殿

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部  
下水道事業課事業マネジメント推進室 課長補佐

## 下水道工事における安全対策の徹底（その1の2）について （令和3年6月18日北海道遠別町発注の工事に伴う死亡事故）

本年6月18日、北海道遠別町発注の開削工法による雨水管路の布設工事において、敷鉄板をクレーン機能付きバックホウで片付けていたところ、オペレーターが架空線に気をとられたため吊っていた敷鉄板が地面に接触し吊り金具が外れ、敷鉄板が近くで別の作業をしていた作業員に直撃し、作業員が死亡するという事故が発生しました。

事故原因等について確認した結果、以下の点で安全対策に不備があったことが確認されました。

- ・ロックが十分に機能しない吊り金具を使用していた。また、吊り金具の始業前点検が不十分であった。
- ・作業指示書ではバックホウオペレーターは合図者及び誘導員の指示のもと作業すべきところ、単独で作業を行っていた。
- ・死亡した作業員は合図者として指名されていたが、他の作業を行っていた。

事故原因等を受けまして、別紙の通りの再発防止策を行うこととされました。

各下水道管理者におかれましては、引き続き工事現場へのパトロールを通じ、施工計画書等に基づく作業手順通りの施工や安全管理の徹底など改めて確認するとともに、当該再発防止策も参考として安全管理に対する指導を徹底することで受注者の安全意識の醸成を図り、事故の未然防止に努めていただくようお願いします。

# 事故発生状況と再発防止策 (R3.6.18 北海道遠別町)

## 【事故発生状況】

- ・ 事故当日は開削工法による雨水管路の布設工事を行っていた。
- ・ 敷鉄板をクレーン機能付きバックホウで片付けていたところ、オペレーターが架空線に気をとられたため吊っていた敷鉄板が地面に接触し吊り金具が外れ、敷鉄板が近くで別の作業をしていた作業員に直撃し、作業員が死亡した。

## 【事故原因】

1. ロックが十分に機能しない吊り金具を使用していた。また、吊り金具の始業前点検が不十分であった。
2. 作業指示書ではバックホウオペレーターは合図者及び誘導員の指示のもと作業すべきところ、単独で作業を行っていた。
3. 死亡した作業員は合図者として指名されていたが、他の作業を行っていた。

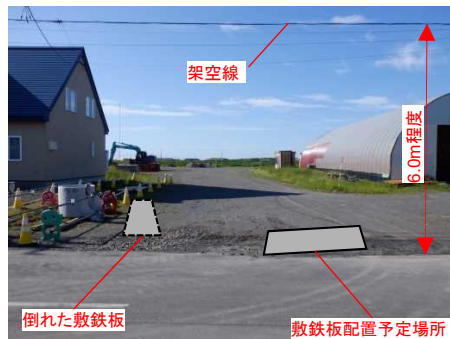
## 【再発防止策】

1. 吊り金具は確実にロックが機能するなど不良不備がないものを使用し、また始業前点検を十分に行う。
2. バックホウオペレーターは単独での重機作業は行わず、必ず合図者や誘導員の指示に従い、重機作業を行うように徹底する。合図者は作業指示書に従い、バックホウの作業時は合図者として作業する。

## 【状況写真】

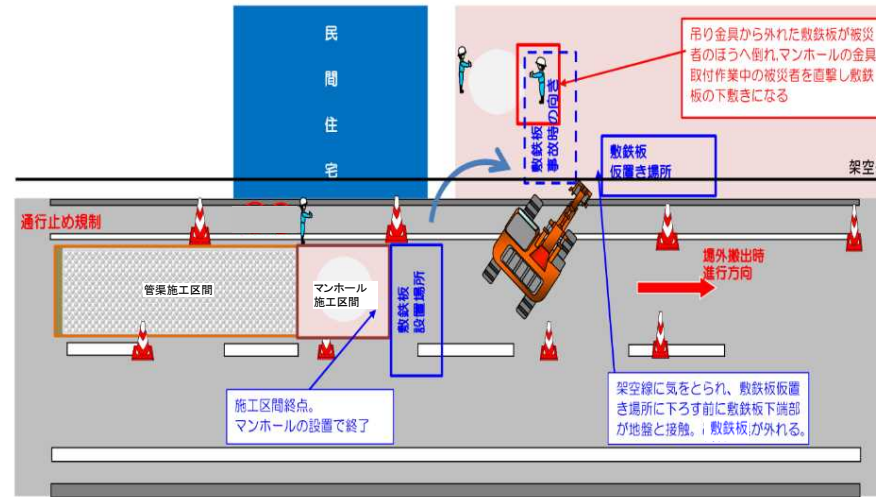


事故発生時に使用していた吊り金具

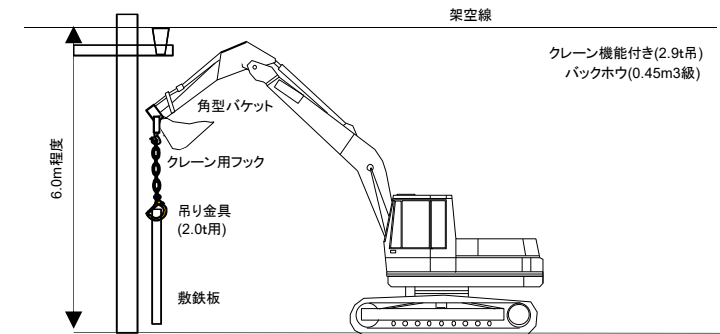
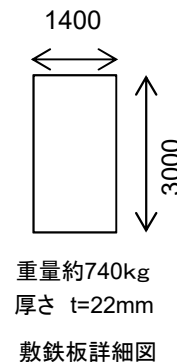
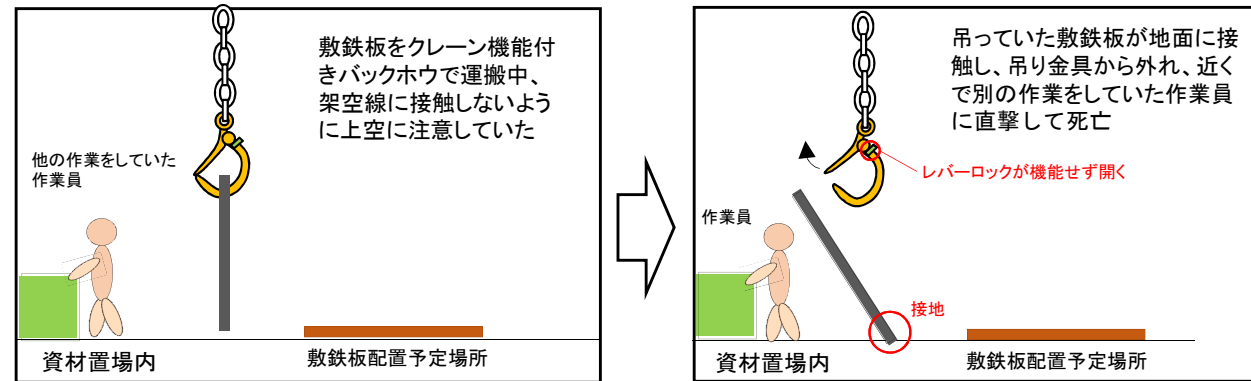


架空線と敷鉄板の位置関係

## 【状況図】



事故発生状況平面図



クレーン機能付きバックホウの吊り作業状況